



させほ夢大学

発行●公益社団法人 させほ夢大学
編集委員会
事務局／〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させほ夢大学会報

No.293 <2020・9>

令和2年度
第3回

2020年9月17日(木)

アルカスSASEBO 大ホール

1部 開場 14:00
講演 15:00 (終了16:20)
2部 開場 17:30
講演 18:30 (終了19:50)

今回は、多くのテレビ番組にご出演され、ご活躍の岸博幸さんをお迎えします。

岸さんは、一橋大学経済学部卒業後、通商産業省(当時)に入省。1990年よりコロンビア大学経営大学院に留学し、MBA(経営学士号)取得。その後、経済財政政策担当大臣補佐官をはじめ、各大臣補佐官、秘書官に就いて情報通信政策や郵政民営化などに携わりました。

経済産業省を退官した後は、慶應義塾大学准教授になられ、2年後には慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授に就任されました。

現在は、グッド!モーニング(テレビ朝日)やビートたけしのTVタックル(テレビ朝日)など、コメンテーター・パネラーとしてご活躍中です。



さらに「おもしろく誰にでも理解できるような解説」をモットーに、政治・経済・金融・国際情勢・経営論・IT・音楽業界・教育と幅広いジャンルの講演をされ、人気を博しておられます。

岸さんは著書の中で、近年の新聞やテレビの報道を見ていると、政治や経済の政策に違和感を感じざるを得ないと…。そして、報道の大半は、目の前のことや事件性のセンセーショナルなことばかりで、これから先の我が国がどうなるか、多くの国民は日本経済の将来に健全な危機感を持ってほしいとされています。

現在の日本政治に何が問われているのか。混迷する世の中で私たちはどうすべきかを示唆していただく機会になりそうです。乞うご期待!

講師 ● 慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科教授 ^{きし} 岸 ^{ひろゆき} 博幸氏

テーマ ● 混迷する政治と経済を斬る

講演会は1日2回開催です。詳しくは裏面のお知らせを必ずお読みください。



次回のご案内

■と き / 9月27日 (第4日曜日)

■講 師 / 元 宮崎県知事 ^{ひがしこくぼる ひでお} 東国原 英夫氏

■テーマ / ピンチをチャンスに!
～元気な地方が日本を変える～

●1957年宮崎県出身。2007年1月宮崎県知事に就任し、独自の感性和行動力で宮崎県勢の発展に尽力。常に地方の代表として全国に情報を発信し続け、数々の賞を受賞し、改革派の知事として高い評価を得る。2011年任期満了で退任。のち衆議院議員に当選、国政へ進出し2013年辞職。現在は報道・情報番組へのコメンテーターとして、又、タレントとしても数多く出演している。趣味はマラソン。

岸 博幸氏のプロフィール

●1962年東京都出身。86年一橋大学経済学部卒業後、通商産業省入省、コロンビア大学留学、KEDO及び内閣官房情報通信技術(IT)担当室へ出向、経済財政政策担当大臣補佐官及び郵政民営化担当大臣秘書官、総務大臣秘書官を歴任後、2006年経済産業省退官、のち現職。以後イベント取締役・文化審議会著作権分科会委員等を歴任。現在、テレビ「グッド!モーニング」「ビートたけしのTVタックル」等に出演。著書に「岸博幸の政策ウォッチ」「オリンピック恐慌」等あり。





辺真一氏



平和がいつまでも

佐世保市早苗町 牧 多連江

テレビでもよくお目にかかり日本人よりお上手な日本語に感心したり、お人柄もやさしい辺真一氏の講演会に参加できて、たいへん嬉しく思いました。やはり日本や日本人に対してのご理解などよくお話しくださったって、出席できたことを喜んでいきます。

私も昭和3年生まれ92歳を数えますが、戦中戦後を生きて幸せな今の世の中に巡り合わせ、平和がいつまでも続きますことを心から祈っています。「夢のつづき」にいつまでも元気で参加できることを祈念しながら「させぼ夢大学」に感謝申し上げます。

知恵を出し合って

北松浦郡佐々町 法本 安子

コロナ禍の終息が見えない



■日韓関係で国家間の話は政治家に任せて、国民同志が仲良くなるためには、交流を今以上に、友達になることです。
佐世保市権常寺町●田中 和之

■日本と韓国、北朝鮮の関係について、第三者の視点から見えるような講演だった。ただ、もう少し音響がクリアーだったら良かった。
佐世保市御船町●井川 朋和

■貴重な講演をありがとうございます。日韓関係の難しさを再認識できました。次回講演があれば、北朝鮮に関する話をもっと聞きたいと感じました。
佐世保市上本山町●後藤 益拓

■拉致問題やアメリカの選挙について、とても興味深いものでした。今、一番気になる問題も改めて考えさせられました。
佐世保市鹿町町●肥後屋 千鶴

■日本に一番近くて遠い国になってしまった韓国、又進展が中々進まない北朝鮮との交渉の行方に注目。今秋のアメリカ大統領選、そして北朝鮮の経済立て直しを計る来年1月の党大会の行方と、これに中国を含めた4か国の行方に期待と注目が集まった辺氏の講演に納得しました。
東彼杵郡波佐見町●田添 穂澄

■今回はジャーナリストの辺真一氏の朝鮮半島情勢と日本についての講演で、韓国との日本経済問題、慰安婦問題、拉致問題、コロナ感染まで様々な内容があり、勉強になりました。
佐世保市栄町●曾我 菜穂子

■二つの国の間の様々な話をされた辺先生。今、世界が大変なのにどうして話し合いが出来ないのでしょうか。横田さんの話もされましたが、胸が痛みます。コロナでスタッフの皆様、お疲れさまです。ありがとうございました。
佐世保市木風町●西 照美

中の今日の夢大学、講師辺真一氏も先ずこの話題から。大石内蔵助の精神力にぞっこん、おしんの話と日本への愛を察するに余りある。さて辺氏のコロナ禍の切り口は？

日本と韓国、北朝鮮に対する取り組み方の違いや情報開示の仕方など、細やかに数値をあげながら、日韓の違いを説かれた。

少し近寄りたがたい印象の辺氏が、難しい底なし沼のような日韓関係について、厳しさを時折覗かせながらジャーナリストの顔で本題に入られた。不買運動、慰安婦問題、徴用工の問題など、よく聞く言葉だが難しく、よく分からない。

日本と韓国の国民性の違い、歴史認識が百八十度違うなど、理解し合うのは難しいかもしれないが、お互いに支援し合ったこともある、其のことを思い出してみよう。

次々に起こる難問にいちに立ち向かうか、知恵を出し合っていて、向こう三軒両隣仲良くしていけないものか。

拉致、核、ミサイルと重いテーマも残されているが、この秋のアメリカ大統領選の結果次第では、又日韓関係にも影響を及ぼして揺れ動くのだろうか。

未来志向で何十年か先、日本から隣国韓国へリニアモーターカーが直通運転するなんて考えるだけでもワクワクする。世界中が平和で繋がりますように。

なぜ近くて近い国になれぬ

佐世保市園崎町 横山 春美

私が常々残念に思う事は、最も近い隣国である韓国と、なぜ友好的になれないのかという事だ。今回の講師は、テレビでおなじみの朝鮮半島間

題の専門家の辺真一氏。大いに期待した。その語り口は温和で謙虚で、好印象を受けた。

まずは日韓の現状を史上最悪の関係と分析。日韓には慰安婦問題や徴用工問題等々、様々な問題が山積している。しかし、日本は「日韓基本条約」や「日韓請求権協定」で解決済みとの立場。それに対して韓国の司法判断は、個人の請求権は消滅していないとし、真っ向から対立している。

歴史を遡ると、日韓併合や豊臣秀吉による朝鮮出兵など、確かに韓国に対し大いなる苦汁を与えた加害責任がある。しかし既に戦後75年。

日本政府は反省の上立ち、折に触れ謝罪をしてきた。私を含め国民の多くも思いは同じだと思う。太平洋戦争による加害責任がある、他の多くのアジア諸国とは良好

もったいない！現在の日韓関係



な関係にあるが、なぜ韓国とは友好的になれないのか。辺氏によれば、両国の信頼関係に原因があると。両国の世論調査でも互いの不信感が如実に表れる。本来なら両国が協調して、東アジアの安定のために寄与すべきだ。北朝鮮の拉致問題に關しても、日朝の嘘偽りのない信頼関係が不可欠と力説。専門家でなければ見えない視点での講話、有難うございました。更なるご活躍をお祈りいたしております。今後の日韓の信頼関係の向上を待望します。

相手を思いやるという心から

佐世保市三浦町 浦川 恵子

今回も貴重な講演、ありがとうございました。

韓国、北朝鮮の問題が発生する度に、マスコミから引つ

張りだこの先生は、健康面は大丈夫なのだろうか、そちらの方を心配しながら画面越しに伺っておりました。いつも穏やかな口調と表情で声を荒げられる事も無く、自ら学びたいところがございます。今回は、特に拉致問題について「本音のところどうなのか」と、とても関心を持っておりましたが、なかなか解決までには、一山二山も越えなければならぬ事を深く感じました。誰もが幸せに暮らす為に、まずは私達が身の回りから相手を思いやる心から始めていくのではないかと、改めて感じたところです。

夢のような日本と韓国の話

佐世保市須田町 中村 トシ子

東京で生まれ育ち、韓国にルーツを持つからこそ、両方の立場に立って考えることができる辺真一さんの講演に、興味深く聞き入りました。

残念なことに、日韓関係は底なし沼にはまったような最悪の状況。しかし、経済はもちろん、観光や文化面でも交流の深いごく近い隣国同士だから、もし、両国の関係が良好であれば、お互いにウインウインの関係を築くことができる。だから、本当に「もったいない」という辺さんのお話に心を動かされました。辺さんは、お互いに、相手

のために絶大な支援を交わしたことがあったのに、その歴史をみんな忘れてしまっているかと嘆かれます。1997年に韓国が経済破綻の危機にあった時、韓国を救ったのは日本。日本の金融支援により韓国は見事に復活したのです。2011年の東日本大震災のとき、韓国は日本を救うために、全国を挙げて日本を救うキャンペーンを行いました。韓国の新聞に、異例の日本語による応援の見出しが躍り、多数の韓国人ボランティアが日本に向かったのです。辺さんの大きな夢は、日本と韓国を、英仏のように海底トンネルでつなぐこと。日本の海底トンネルの技術は素晴らしい。そこを、リニアモーターカーでつなげば90分で行ける！そうすれば、世界中から旅行に来てもらえる。当然貿易も増える。こんな夢を、

北朝鮮、韓国、中国を相手に日本は



どうすればいいの？ 教えて、ピョン先生！

未来志向で両国民にアピールすべきなのだと言張されています。

今の最悪の日韓関係はもったいなさすぎる。争っている場合ではない！このままでは両方がジリ貧になると警鐘を鳴らされる辺さんに、未来に向けて、さらに発信を続けていただきたいと心から願っています。

講演を聴かれた感想をお待ちしています!!

- ◎600字程度にまとめて、させぼ夢大学事務局まで、郵便・FAX・メール等でお送りください。短文でも結構です。掲載分にはささやかですが記念品をお送ります。
- ◎締め切りは講演日の1週間後(必着)といたします。感動がさめないうちに早く書いてお出してください。
- ◎講演直後、三行感想文(60字程度)を書いて、出口の「夢のとびら投稿箱」にお入れください。なお、1週間以内にはがき、FAX、メール等で投稿していただいてもかまいません。年間に2回以上掲載の方には記念品をお送ります。
- ◎せっかく頂いた原稿でも、紙面の都合上掲載されない場合があります。また一部省略させていただくこともありますので、ご了承ください。

郵送先：〒857-0863 佐世保市三浦町4-30 松蔵ビル3F
F A X : 0956-25-9545
E-mail : sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

事務局だより

★マナーについて

- ①スマホや携帯電話等の「電子機器類の電源は、確実にお切りください」
- ②座席取りはおやめください。
- ③講演中や演奏中の私語は慎んでください。
- ④写真撮影及び録音・録画は禁止です(著作権法の関係上)。
- ⑤つばの広い帽子の着用はご遠慮ください。
- ⑥ホール内での飲食はできません。

★講演中に御手洗い等のために、席を立たれてもかまいません。

★優先者席について

1階会場の最後尾列に、車イス等の方のために、優先者席をご用意しています。

★館内の空調について

フロア及び座席の位置によってかなりの温度差が生じることがあります。十分に準備をされた上でご出席ください。

★音響不具合のお詫び

今回の講演会では、音声が聞き取りにくいとのことご意見があり、大変ご迷惑をおかけいたしました。今後、音響改善に努めてまいります。

大切なお知らせ

- 9月17日の講演会は、新型コロナ感染による3密を避けるために、**1日2回講演**にて実施します。ご理解とご協力をお願い致します。
- 1回目講演と2回目講演の振り分けは、**「入場ハガキ」**でお知らせします。
- 各講演の時刻表、健康チェック表を記載した**入場ハガキ**に、**必要事項**をご記入の上、**学生証と共に**ご持参ください。
- 第1回目講演は15時から、第2回目講演は18時30分から開始**しますが、新型コロナ感染防止のため、ホールの開場前に**健康チェック**を行います。
- ご入場の際はマスク着用をお願いします。
- ホールの客席は一席ずつ空けてお座りいただきます。ご協力をお願いいたします。(カラーテープを貼った席には座らないでください)
- 学生ご本人が欠席で**代理出席の場合も、必ず、学生証と入場ハガキ**をご持参ください。もし、両方ともない場合は、万が一、感染者が発生した場合、捕捉追跡ができませんので、入場をお断りすることになります。
- 学生証を失くされた場合は、学生申込時に登録された住所・氏名を確認できるものを添えて、専用窓口(ホール入り口右手側に準備します)にお申し出ください。

ふるさと地球科学紀行

- Vol.3 -

佐世保の地質 3

〔九十九島〕

長崎県地学会 松本 直弥

九十九島は言うまでもなく佐世保の宝、西海国立公園を代表する景観で、展海峰などの展望台からの眺めは素晴らしいと思います。数年前、よく比較される宮城県の松島へ行きました、島の密集度も美しさも、九十九島の方がひびき目なしに優っていると感じました。芭蕉先生に九十九島へも来ていただいで、是非一句詠んでもらいたかったところです。

さて、九十九島は佐々川河口で南北に分けられています。南九十九島には主に相浦層群の中で最も古い尼湯層の地層が分布しています。砂岩を主体とした地層で、地層の傾斜は水平に近く、風化浸食により造りだされた奇岩を、九十九島を巡る観光船で見ることができます。

一方の北九十九島は、アクセスの良さでは南九十九島に一步譲りませんが、杵島、相浦、佐世保、野島層群と幅広い第三紀の



写真1：展海峰からの南九十九島の景観
相浦層群尼湯層の砂岩を主体とする



写真2：魚見崎の鳥類の足跡化石

地層が分布しています。地層は西へ北西へ最大40度ほど傾むいており、南九十九島よりも傾斜が急です。さらに、堆積岩だけでは無く、高島では北松浦玄武岩の見事な柱状節理が、黒島には「黒島みかげ」と呼ばれる閃緑岩などの火成岩も見られ、地質的には、断然面白さがあります。これには、北と南を分ける佐々川河口に、前回お話ししたとも関係しています。

それにくわえ、小佐々町楠泊の沖合に浮かぶ野島には淡水性の貝類化石が豊富に見られます。野島化石群としてよく知られていて、1978(昭和53)年に「小佐々野島の淡水貝化石含

有層」として県指定天然記念物となりました。ガマンセガイやタニシなど10種ほどを産出し、同類の化石は五島の奈留島でも発見されています。ガマンセガイ属の現生種は、多くは東南アジアや中国南部の暖地の内陸湖水や河川に生息していて、当時の環境が想像されます。野島層群の名前は、この野島に由来するものです。

野島自体は瀬渡しが必要で容易には観察できませんが、対岸の魚見崎東側海岸にも同じ地層が露出しており、貝化石の他、珍しい哺乳類や鳥類などの足跡化石も観察することができます。また、本土最西端の碑がある神崎鼻付近では、野島層群中の火砕流堆積物である「小島崎凝灰角礫岩」も観察することができます。当時の火山活動の名残です。

講演を聴かれた感想をお待ちしています! 600字程度にまとめて、させば夢大学事務局まで、郵便・FAX・メール等でお送りください。締切日は原則として、講演日の1週間後の木曜日(必着)です。